

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズサポートていーだ鈴川教室				公表日	2026年2月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	・集団活動や個別活動等、用途別にスペースを分けて使用している	・利用児童の成長と共に体が大きくなり、更なるスペースの工夫が必要で、ケガや事故に繋がらないように配慮していく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	・適切な配置になっている	・普段から体調管理に努めている ・体調不良による急な欠勤時は、支援の質が落ちないように他教室へ応援要請する	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	・情報の可視化、一斉指示の際は絵カードを使用している ・トイレでの支援がおこないやすいように広くバリアフリー化、個室内に洗面台を設置している	・掲示物を最小限にし、活動に集中できる環境を設定する	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	・日々の清掃と消毒、1時間ごとの換気を徹底している ・最低限の物の配置にしている	・職員ひとりひとりが心掛け、常に清潔な空間を保つようにする	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	・状況や必要に応じて個別に使用する部屋を設けている	・面談で使用するため、支援中は予定を入れずに対応できるようにする	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	・定期的に職員会議を開催している ・全員が意見を出せる環境づくりをしている	・時短勤務の職員も全員参加し、定期的な振り返りが継続できるようにする	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	・ミーティング内で共有と検討をおこない、業務改善に努めている	・保護者からの意向を把握し、業務改善に努めていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	・日々のミーティング内で共有と検討をおこない、業務改善に努めている	・送迎時間が早いと職員が揃わないときもあり、個別での伝えになる場合もある、共有ノート等の使用を検討していく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	・外部講師による評価をおこない、業務改善に繋げている	・継続しておこなえるようにする	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	・外部講師による研修を月に2回受講している	・研鑽を積むためにも事業所内での研修を計画していく	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	・5領域やこどもの発達に合わせ職員から聞き取り、担当者が作成し、公表している	・職員全員が目を通せるようにする	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	・定期的な面談をおこないアセスメント作成、困り事や必要な支援を検討しきくせいしている	・継続した支援がおこなえるようにしていく	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	・計画書作成や評価をおこなう際は、職員会議を開催し検討している	・支援が偏らないように、職員の意見を活かしていく	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	・計画書を作成し原案会議を開催、共有と適切な計画書になっているか確認をおこなっている	・計画に沿った支援が行われているか、計画書を全職員が把握していく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	・保護者より結果を受け取り、聞き取りにより確認している	・適切な使用方法を共有していく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	・職員会議を開催して適切に設定されているか検討している ・具体的な支援内容を確認し、支援をおこなっている	・更なる課題はないのか、見逃さないようにしていく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	・季節や曜日ごとの利用児童に合わせて、職員で案を出している	・担当職員の得意分野で偏らないように意見を出していく	

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	・固定化しないように職員からの案を基に、 月毎に担当職員を決めて作成している	・固定化していないか担当以外が再度確認を おこなう
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放 課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	・状況に合わせて作成し、支援をおこなっ ている	・こどもの状況を適切に知っていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	100%	・職員が揃う午後のミーティングで、申し伝 えをおこなっている	・送迎で参加できない職員がいる場合もあ るため共有ツールを利用していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	・支援の振り返りをおこない、特記事項の申 し伝えをおこなっている ・業務日報内でも共有している	・こどもの安全を守るためにも、申し伝えを 失念したということが起こらないようにする
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	100%	・業務日報とサービス提供記録へ記載し、検 証と改善に努めている	・記録をとるだけにならぬように、記録を基 に検証と改善をおこなう
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	・児童に合わせて4~6ヶ月で見直しをおこ なっている	・そのこどもの適切はどこかを見極める
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	100%	・子どもたちと遊びのルールを決めている ・公園遊びの際はゴミ拾いをおこなっている ・経験を積み、成功体験から自信へと繋がる 活動を計画している ・伝承遊びや食育などを活動内でおこない、 興味を広げる支援をおこなっている	・ここでしかできない体験の組み合わせや工 夫を怠らない
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	・利用時の状態に合わせて活動内容などを選 択できるように、複数準備している	・大人の強制にならないように、こども主体 を心掛ける	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	・児童発達支援管理責任者が参画している	・共有することでこどもの状況は理解でき るので、全員が参画できるような関わりをし ていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	・協力医療機関等と連携し、体制を整えてい る	・積極的に関わりを持っていきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	100%	・送迎の際に申し伝えをおこない、月予定を 受け取っている	・事業所内の活動予定等の共有は少ないの で、こちらからも発信していくことを検討す る
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	・情報共有会等で相互理解に努めている	・受け身にならずに事業所から提案していく こと
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	100%		・これまで対象児童はいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		・児童発達センターとの連携はおこなわれ なかつたため、今後検討していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	100%	・公園遊び時に地域のこどもと関わりを持っ ている	・関わりを持っているが活動する機会はな かつた、可能であれば機会を設けていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	・開催される時は事業所から1名は参加し ている	・ひとりの職員だけではなく、他の職員も積 極的に参加していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	100%	・サービス提供記録や送迎時に伝え合いをお こなっている	・送迎時に保護者へ声を掛けて関係性を築 き、家庭での様子をうかがえるようにする
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。	100%	・年に2回保護者ネットワーク「ていーだカ フェ」を開催し、研修や情報共有をおこなっ ている	・親子行事などを組み込むなどして計画して いる、内容の提案を誰もができるように意見 を受け入れる体制をつくる
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	100%	・契約時と変更がある場合に説明をおこなっ ている	・「分からない」の意見があれば、すぐに説 明をおこない対応すること	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	・定期的に面談をおこなっている	・保護者と一緒だと発信できないこどもがい るため、利用時に聞く等機会を設ける	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・作成後に提示し説明をおこない同意を得ている	・専門用語は使用せずに作成する
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・保護者から要望がある時、事業者側で必要だと感じた時におこなっている	・自己研鑽から引き出しを増やしおこなっていく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		・祝日を利用してイベントを開催し、きょうだい同士での交流の場を設けている	・職員が声掛けをおこない横のつながりのきっかけづくりをする
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・苦情窓口を設置して対応している	・事業所で委員会を開催し対応の整備をする ・起こらないことが理想だが、起きた時の対処方法を学ぶ
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・運営アプリやSNS等で発信している ・電子ツールを用いて利用時の情報発信をおこなっている	・発信した情報を確認いただけるように声掛けをおこなう
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・鍵付き書庫で保管している	・これまで通り厳守していく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・面談の際に筆談や、非言語的コミュニケーションでの意思の疎通と伝達をおこなっている	・保護者と関わりを持ちたいが筆談になるため参加に繋がるように検討していく
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		・秋まつりへの招待、避難訓練時に招いて助言をいただいている	・行事だけでなく普段の活動の様子を見ていただきたい	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・事業所の年間計画に基づき、おこなっている	・マニュアルはあるが、家族への周知が徹底していないこと
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・事業所の年間計画に基づき、行なっている	・定期的におこなえるように準備をすすめる
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		・見学と契約時に確認し、状況に合わせた対応をおこなっている ・家庭と連携し、迅速な対応をおこなっている ・服薬が必要な際は「くすり表」の記入していただき対応している	・「くすり表」の周知を徹底する
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・保護者を介して指示書を頂き対応している ・アレルギー発症時の連絡先とアレルギーについて、食品を保管する場所に掲示している	・これまで通り、おやつを提供時に二重チェックを怠らないこと
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・安全計画を作成し、定期的な研修と訓練をおこなっている	・季節的な災害を想定しての訓練をおこなっていく
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・活動予定、活動記録で周知している	・事前に取り組み内容を詳しく周知する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・当該職員が作成し、ミーティングで共有と検討をおこない再発防止に努めている	・ヒヤリハットを記入し次の日に全員で検討する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・外部講師による研修を定期的におこなっている	・職員の心身状況を確認して支援をおこなう
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・契約時に説明をおこない、状況に合わせて対応し保護者への説明をおこなっている	・身体拘束をおこなわずに事前に対応できることを検討し共有する	